

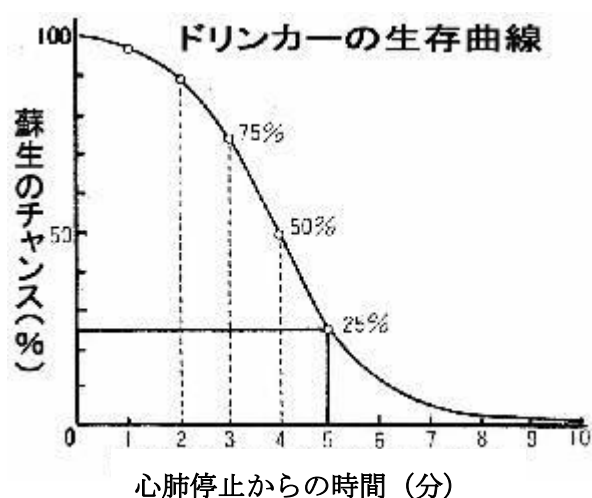
## 命の大切さ＜普通救命講習＞

体育コースの授業の一環として「命」について考える大事な講習に普通救命講習があります。講習は毎年行われており、1年生と今年度から体育コースに加わった生徒が対象です。講習を修了すると認定書が受講した生徒に配られます。

武蔵野消防署隊員の熱心なレクチャーに耳を傾け、この講習の目玉ともいえる心肺蘇生法の実技訓練が行われました。

ドリンカーの生存曲線を知っているでしょうか？  
心肺停止から蘇生率を表すこの生存曲線は、  
心肺蘇生法の必要性を訴えています。

ドリンカーの生存曲線では（右の図）  
心肺停止から **3分経過**で蘇生率 **75%**  
心肺停止から **4分経過**で蘇生率 **50%**  
心肺停止から **5分経過**で蘇生率 **25%**  
とされている。



このように心肺停止時は1分1秒を争う素早い対処が必要になります。救急車が到着するまでのわずかな時間も無駄には出来ません。

今回受講した生徒もこの命の大切さ、心肺蘇生法の必要性について考えたようです。緊急時、一人でも多くの人を救えるそんな存在になってもらいたいと思っています。非常に内容の濃い講習を受けることが出来ました。

